

令和3年度実績に対する委員事前評価一覧

資料 2

NO.	取組項目	自己評価	遠藤委員	倉林委員	高橋委員	取組内容区分	委員からの意見(改善指摘、提言、質問等)	
							委員	内容
1	県民参加の推進	B	B	B	B	(1)	遠藤委員	7月に私も参加させていただいたが、自分たちの意見はもちろん知事の考えも聞けたので非常に有意義な時間でした。
						(1)	倉林委員	コロナ禍にありながら、県民との直接意見交換を行い、その意見を新プランに反映させたことは評価できる。
						(1)	高橋委員	意見の中にも出ていた通り、当社にも、県外で社会人経験を積み秋田に戻った人材が数名いるが、高い技術的なスキルや対応力等、非常に頼もしい存在です。Aターンや県内定着支援の魅力ある施策が展開されることを期待します。
						(3)	倉林委員	取り組み自体は評価できるが、実施件数の伸び悩みと、意見ゼロの案件減少に向けた取り組み強化が必要。
						(3)	高橋委員	県ウェブサイトにもパナーがあり、パブリックコメント自体は認知しやすくなったが、どうしても専門性が高いものは意見数が少なく、そうでないものはそれなりに意見が寄せられている。意見ゼロの案件を精査し、さらに掘り下げて改善を図る取組の検討が必要と考えます。
						(4)	倉林委員	審議会等の公募委員割合については目標を下回っており、数年間改善の兆しが見えない。女性委員割合については上昇傾向が続いており、取り組みの成果が認められる。
2	広報の充実と発信力の強化	B	B	B	A	(1)	倉林委員	さまざまな広報に関する取り組み状況は理解できるが、県民意識調査における肯定的評価が目標に達しないことの定量的分析と対応を期待する。
						(1)	高橋委員	指標に対する実績値はやや下がったが、職員向けにおいてはマニュアル作成や外部講師による研修の実施など、活発な取組が行われていて評価できると思います。
						(2)	倉林委員	国際交流委員による情報発信力のさらなる強化が望まれる。新たな県公式サイト「アキタファン」はフォロワー数が伸びていることから観光情報強化が期待できるのではないかと。
						(2)	高橋委員	Facebook、Webサイト共に実績数値が昨年度を上回り、取組の効果を感じます。旅行需要の回復に向け、更なる効果的な発信を期待します。
						(3)	倉林委員	実績が目標にたっしておらず、実績値は低下する傾向にあることから、メディア選択肢ごとの傾向分析を行ってほしい。紙媒体やマスコミ報道による情報取得が根強く残っている感があり、数年スパンで分析するなどしてほしい。
						(4)	倉林委員	SNSを活用した取り組みではInstagramのフォロワー数が急増するなど、新型コロナウイルス感染拡大によるイベント中止の影響を考慮すれば、取り組みは高く評価できる。
						(4)	高橋委員	Instagramの投稿キャンペーンは、継続実施により認知度や参加意識の向上が実績にもみられ大変よいと思います。質問ですが、「アキタファン」のサイトにあるダウンロード可能な観光写真素材の利用許可範囲や条件等はどのようになっているのでしょうか。サイト内に特に記載がないのですが、無償利用が可能という理解でよいのでしょうか。
						(5)	倉林委員	オンラインを活用した講座を取り入れ、利用実績は増加に転じており、引き続き県民のニーズに応えた出前講座の企画に期待する。
						(5)	高橋委員	コロナ禍の状況下で、この取組実績の内容は素晴らしいと思います。ぜひ今後も県民が必要とする内容を的確に捉えた実施を期待します。
3	人口減少社会に対応する社会資本の整備等	A	A	A	A	(1)	高橋委員	あきた芸術劇場については、先日の開館及びグランドオープンに向けて順調に進捗していると感じられます。県外からも注目されるようになり、まちの賑わいに繋がっていく事を期待します。
4	市町村との協働・連携	A	A	A	A	(3)	高橋委員	過年度の実績をみても順調に目標値を達してきていることをふまえると、今後の更なる取組意識向上の為に、目標数の検討を行ってほしいと感じます。

NO.	取組項目	自己評価	遠藤委員	倉林委員	高橋委員	取組内容区分	委員からの意見(改善指摘、提言、質問等)
5	情報通信技術(ICT)の活用	B	A	B	A	(1) 高橋委員	オープンデータの公開数も順調に増えており、秋田県DX推進計画に基づいた今後の取組を期待します。公開数のみに捉われず、県民が有効活用できる点も重要視し、継続した取組をお願いします。
						(2) 倉林委員	環境整備により、テレワーク利用者が飛躍的に増加したことは高く評価できる。
						(2) 高橋委員	テレワーク実施条件の撤廃や、自宅から庁内への接続を可能な環境に整備した点は、着実にテレワーク実施実現に向けた取組であると評価できると思います。
						(3) 倉林委員	コロナ禍や押印廃止のニーズを受けて、目標値にとられない積極的な電子申請の強化に取り組むことを期待する。
						(4) 倉林委員	目標達成できたことは評価できるが、件数のみならず、今後の業務効率化の指標をどう示すか検討してほしい。
						(4) 高橋委員	RPAについては、昨年度は3業務選定し、2,632時間の削減という具体的な実績表記でした。今回は効果の測定を行っていないとすれば削減時間の数値的表記はなしということで理解できるが、昨年度以上の削減効果を図れたと推測いたします。
6	県民サービスの維持・向上		A	B	A	(1) 高橋委員	肯定的評価が目標値に達成した事は大変素晴らしいと思います。調書の取組実績、自己評価のコメントが昨年度と同一なのは、指標の目標値達成度合のみで取組が完結されている印象を受けてしまいます。利用者アンケートにて利用者からの要望や課題点の提議等も把握されているようでしたら、そちらも精査し、今後の更なるサービス向上につなげていただける姿勢が伺えればと思います。
						(2) 倉林委員	実績値が公表されていないが、R2の実績は大きく落ち込んでおり、R3においても第三者評価制度の導入について検討中であることからB評価とした。
						(2) 高橋委員	R5年度導入という具体的な目標を掲げ、第三者評価制度の導入に向けた前段階的取組が行われており、現時点では評価できると思います。
						(3) 倉林委員	県民の利便性向上や行政運営の効率化のため、手続きのオンライン化を着実に進めていただきたい。
7	仕事の進め方の改善	A	A	A	A	(1) 高橋委員	重点テーマを定め、具体的に見直しを進めた取組まれており、調書にも詳細な実績が落とし込まれており、取組に対する熱意を感じました。
						(2) 倉林委員	朝コミやタコミの弾力的な運用を模索し、さらなる有効活用を図ってほしい。
						(2) 高橋委員	取組実績が昨年度と同一なのですが、昨年度の委員からの意見にあったような、現場の実態に合わせた実施への対応はどのような取組をされたのか、具体的な表記があってもいいのではないのでしょうか。
8	簡素で効率的な県政運営	A	A	A	A		
9	県民の安全・安心の確保	A	A	A	A	(1) 倉林委員	自主防災組織の組織率が増加しており、災害関係情報の情報集約配信システム運用も評価できる。さらに取り組みを推進してほしい。
						(1) 高橋委員	自主防災組織の新規結成により、自主防災組織率が向上したことは、取組による成果と評価いたします。
10	県政運営の信頼性と透明性の確保	B	B	B	A	(1) 高橋委員	R2年度の制度本格導入から、R3年度は範囲を広げた取組となっており着実な体制整備がなされていると評価いたします。
						(3) 倉林委員	総合評価落札方式の適用実績のない補修系工事や建物解体工事等が増加していることを目標未達の理由として挙げているが、同方式の適用が妥当かどうか、および目標設定の仕方等について検討が必要である。
						(3) 高橋委員	※R3年度取組実績の表において、R2前年度比の数値が誤っていると思われるので確認をお願いします。

NO.	取組項目	自己評価	遠藤委員	倉林委員	高橋委員	取組内容区分	委員からの意見(改善指摘、提言、質問等)
11	NPO、企業、大学等の多様な主体との協働の推進	B	B	B	A	(1)	倉林委員 新型コロナウイルス感染症の影響により協働団体数の目標値が未達であるが、市民活動サポートセンターにおけるこれまでの積極的な情報発信は評価できる。
						(2)	倉林委員 コロナ禍でのイベント中止はやむを得ないが、SNS等による若年世代に向けた情報発信を加速させる必要がある。
						(2)	高橋委員 昨年度の委員の意見もふまえてコロナ禍で行える新たな手法を検討し、情報発信を強化した取組が行えたことについては、大変良かったと思います。今後も継続していただくことを期待します。
						(3)	倉林委員 コロナ禍にもかかわらず相談件数や各アダプトプログラム参加団体数を確保し、目標達成できたことは高く評価できる。
						(3)	高橋委員 県内大学との連携は、企業と学生と地域とそれぞれに有効な機会であり、とてもよい取組だと思います。
						(4)	倉林委員 新型コロナウイルス感染拡大の影響により目標未達の項目があるが、目標値に近い高水準のボランティア活動を維持しており、評価できる。
						(4)	高橋委員 今冬は秋田市内も降雪量が多く、除雪ボランティアの存在は非常に有難かったと思います。高い高齢化率×寒冷地のご当地的取組として今後も継続した取組となることを期待します。
12	教育環境の向上	A	A	A	A		
13	職員の意欲・能力の向上	B	A	A	A	(1)	倉林委員 eラーニング教材やリモート講義の活用により、コロナ禍にありながらも一定の水準を維持できている。
						(1)	高橋委員 eラーニング教材の活用や、リモート講義の実施等、実施可能な手法にて積極的に取り組んだ姿勢が感じられました。また、研修内容の改善を図った点からもより質の高い内容になったものと評価いたします。
						(2)	倉林委員 採用試験における女性受験者の占める割合等が目標に届いていない。一方、男性職員の育児休業率などは著しい改善が見られる。管理職における女性の割合は目標に届いていないが増加傾向であり、班長職における女性の割合は初めて目標値を突破したことなどから、全体として取り組みは高く評価できる。
						(2)	高橋委員 男性職員の育児休業率が大きく上昇したことは、個別の取得奨励により取得しやすい働きかけによる成果と思います。班長職の女性割合も上昇傾向にあり、引き続き女性職員の活躍を期待します。
14	働きやすい職場づくり	A	A	A	A	(1)	倉林委員 ウィズコロナを見据えたテレワークや朝型勤務の実績は、今後のワークライフバランスの充実にもつながる取り組みであり、R3の実績(テレワーク実施者数)は高く評価できる。
						(2)	倉林委員 新規採用職員および30歳の職員を対象に実施したセルフケア研修は、対象年齢を拡げるなどにより、活用拡大を検討してほしい。
15	県債発行の抑制	B	B	B	A		
16	財政二基金の残高確保	A	A	A	A		
17	新規・拡充事業への配分財源確保	A	A	A	A		
18	歳入の確保	B	A	A	A	(1)	高橋委員 今年度は自動車税のスマートフォン決済アプリ運用開始により、さらに収入率が向上することを期待いたします。
						(5)	高橋委員 自己評価コメントにある地方交付税総額について、R3年度調書では「前年度より0.6兆円上回る18.5兆円」という記載ですが、R2年度の調書では17.4兆円となっておりますので「前年度より1.1兆円」となるか、数値の確認をお願いしますでしょうか。

NO.	取組項目	自己評価	遠藤委員	倉林委員	高橋委員	取組内容区分	委員からの意見(改善指摘、提言、質問等)
19	コストの縮減	B	A	A	B	(2) 倉林委員	行政のデジタル化推進と、情報システム維持管理経費の予算額の抑制は相反するものと思われるため、予算額を超えたのでBとするよりは、適正な運用を測れる目標設定が望ましい。
						(2) 高橋委員	R2年度に引き続き、業務系システムのサーバ集約を行っていることから維持管理経費が増加するのはやむを得ないが、コメントにある通り調達審査による経費削減と適正コストでの運用により、業務の効率化を実現していけるよう取組をお願いしたいです。
20	県有資産の適正管理	B	A	A	A	(2) 倉林委員	県有施設の売却件数についてはH26以降、売却件数が鈍化しており、売れにくいものが残った感がある。この項目以外では目標を達成しており、県有資産の適正管理に関する取り組みは全体的に高く評価できる。
21	第三セクターの見直し	A	A	A	A		
22	地方独立行政法人の効率的・効果的な運営の促進	B	A	B	A	(1) 倉林委員	公立大学法人の外部資金獲得については昨年度よりも飛躍的な増加が見られた(特に県立大学)ことから経営努力が高く評価できる。
						(1) 高橋委員	県立大学における外部資金獲得状況はR3年度大きく増加しており、一層の魅力ある教育研究内容の充実を期待します。秋田県立病院機構については、いずれも専門性が高く、県民が安心して療養を得られると考えることから、今後も効率的・効果的な運営を継続して頂きたいです。